

京都府地球温暖化防止活動推進センター通信

STOP! GLOBAL WARMING

うおーみんぐ

LET'S WARMING UP OUR ACTION

平成 16 年
春号
~ 第 1 号 ~

地球温暖化問題に取り組む人のための通信です。
実践活動への意欲を、アイデアを、仲間同士の関係を、ホットに温めます！



地球温暖化防止活動推進員研修会の様子（関連記事 7 面）

CONTENTS

巻頭特集

「京都省エネ製品グリーン
コンシューマーキャンペーン」..... 2 ~ 3

CLOSE-UP 地域活動！

「市民共同のおひさま発電所づくり」(長岡京市)..... 4

温暖化対策の仲間たち

「リアル・リンク京都」..... 5

イベント情報・エコの豆知識

..... 6

活動レポート

..... 7

事務局からのお知らせ 他

..... 8



京都府地球温暖化防止活動推進センター

Kyoto Center for Climate Actions

京都府地球温暖化防止活動推進センターは、府内の温暖化防止活動を様々な面からサポートし、一層活性化させることを目的に活動するセンターです。平成 15 年 10 月 10 日、府内の多様な団体が連携し新たに立ち上げた NPO 法人 京都地球温暖化防止府民会議が京都府知事からセンターとしての指定を受け、その活動を開始しました。

京都府地球温暖化防止活動推進センターの活動は、国、京都府、府内の多様な団体、会員の皆様などのご支援によって支えられています。

京都省エネ製品グリーンコンシューマーキャンペーン

推進員も活躍!

グリーンコンシューマー・・・環境に配慮して製品を選択する消費者

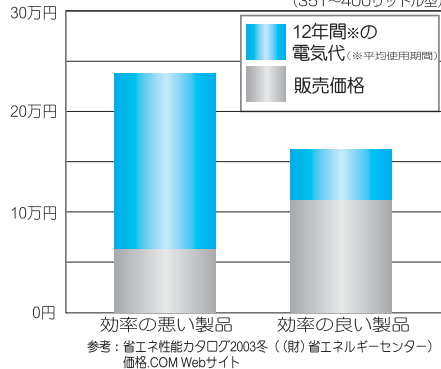
省エネ製品の選択の意義

温暖化防止のためには、省エネが不可欠です。「省エネ」と聞くと、ともすればがまんすることだけがイメージされがちですが、無理にがまんすることなく大きな省エネを達成する方法もあります。それは、「エネルギーを消費する機器を買い替える時に、できるかぎり省エネ性能の高い製品を選択する」ということ。それだけで、とても大きな省エネになり、温暖化防止につながります。

特に、エアコンや冷蔵庫は非常にたくさんの電気を消費しますので、これらを買替える時には、値段や機能、デザインだけではなく、省エネ性能にも注目して製品を選択することが重要です。

なお、省エネ製品は電気代が大幅に安くなりますので、購入時には高くても、長期的にはお金の面でも得になることもよくあります(グラフ参照)。

冷蔵庫の、電気代を含めたトータルコスト(例)
(351~400リットル型)



店頭で表示された省エネラベル(協力:ゴトウ電機)

キャンペーンの概要

しかし、店頭では、どの機種がどれくらいの省エネ性能なのかは、なかなかわかりません。その問題を解決しようと、平成16年の2月から京都府内で実施されているのが、「京都省エネ製品グリーンコンシューマーキャンペーン」です。これは、店舗と協力してエアコンと冷蔵庫に省エネラベルを貼って消費者に情報を提供し、省エネ製品の選択を促す、というもので、平成15年度に京都市内で実施されたキャンペーンを継承・拡大する形で実施されています。キャンペーンの実施主体は、府内の環境NGO、事業者・事業者団体、消費者団体、京都府、京都市、そして京都府地球温暖化防止活動推進センターなどがつくる「京都省エネ製品グリーンコンシューマーキャンペーン実行委員会(事務局:京のアジェンダ21フォーラム)」です。

省エネラベルには、製品の省エネ

ENERGY-SAVING
環境省
省エネラベル
省エネ製品の選択は地球温暖化を防ぎます。

AAA AA A B C
この商品の省エネ性能は?
AAA

総消費電力の低減率100%以上の商品にAランク以上とし、更に省エネ率達成率並びに年間消費電力に附づき、上下に該当を附けたら随時で省エネ性能を通知しています。

メーカー名 品名	省エネ率達成率 年間消費電力
	205% 190kWh

販売価格+電気代で見ると!

販売価格	150,000円
12年間※の電気代(目安)	52,440円
※平均的な使用率	
合わせて見ると	202,440円

省エネ製品の選択は地球温暖化を防ぎます。 京21

省エネラベル(実物は180mm x 90mm)

性能がAAAからCまでの5段階に分けてわかりやすく表示されています。また、平均的な使用期間分の電気代、製品の販売価格、これらを合わせたトータルのコストも併せて表示されています(写真参照)。ラベル表示は、京都府電機商業組合加盟店140店、量販店20店の協力を得て実施されています。

また、京都府・京都市により、新聞などを使ってキャンペーンについて紹介された他、京都市内では、京エコロジーセンターが中心となり、消費者向けの学習会も実施されるなど、ラベル表示に併せて消費者向けの情報発信も行われました。

宮津・与謝プロジェクトの概要

宮津市と与謝郡の四町(伊根町・岩滝町・加悦町・野田川町)では、宮津市エコネットワークが中心となり「宮津・与謝プロジェクト」として重点的にキャンペーンが行われました。

京都府地球温暖化防止活動推進センターは、前年度のキャンペーンで蓄積されたノウハウを宮津・与謝プロジェクトに伝える役割を担いました。

宮津・与謝プロジェクトには、京都府電機商業組合宮津支部加盟店が参加しました。また、数名の地球温暖化防止活動推進員(4頁参照)も参画しており、推進員が企画をし京都府地球温暖化防止活動推進センターが講師を派遣するという形で、数回の消費者向け学習会が実施されました。

キャンペーンの効果

京都府電機商業組合宮津支部加盟店を対象に行った調査には、「省エネ製品を勧めやすくなり、実際に高性能の省エネ機器を販売できた」「店にはAAAの製品だけをおくようになった」「販売単価が上るので、電気店にとっても良い取組である」などの回答が寄せられました。

また、消費者からも、キャンペーン

を歓迎する意見が寄せられています。

このキャンペーンは、販売店・消費者の双方にとってメリットがあり、また温暖化防止にも効果のあるものであったと言えます。

今後の展望

キャンペーンの効果をより大きなものにするためには、消費者向けのきめ細やかな情報発信を、府内各地域で実施していくことが必要だと言えるでしょう。

また、販売店の店員向けの情報発信をさらに充実させたり、店員が使用できる説明用ツールを作成することも重要だと考えられます。

なお、現在、東京都など他の自治体と連携して省エネラベル表示を実施しようという計画も進みつつあります。他地域との連携を密にし、全国的な盛り上がりをつくっていくことが、省エネラベルの認知度を上げ、効果を高めることにつながっていきそうです。

担い手からのメッセージ

後藤幸男さん(京都府電機商業組合宮津支部長)

省エネ性能の高い製品を消費者にお勧めしやすくなって、実際に、売り上げに占める「AAA」の製品の割合がのびており、このキャンペーンは成果をあげていると思います。また、私たち販売者にとっての良い学習の機会になっていると感じています。今後も、このような取組に積極的に関わって行きたいと考えています。なお、省エネ製品選択の意義についての情報は、消費者にはまだまだ行き渡っていないと感じています。今後、消費者向けの情報発信をさらに充実させていただければ、ラベルの効果はより大きくなると考えます。

ゴトウ電機の店頭
宮津市エコネットワーク
が作成した啓発用ののりも掲げられている



中山康成さん(宮津市エコネットワーク事務局・地球温暖化防止活動推進員)

キャンペーン実施期間中に、数十店舗を訪ね、お話を聞かせていただくことができました。ラベル表示自体の評価も高く、今後とも継続していきたいという意見がほとんどでありました。また、広報誌への掲載や宮津市連合婦人会を中心とした消費者説明会の開催も高く評価していただいています。ただし、宮津市内の家電販売店は、そのほとんどが店舗が小さく、展示品も少ない状況であることから、販売は、消費者宅へ直接訪問し商談する方法が主なようです。こうしたことから、当該地域においては、ラベル表示だけでなく、訪問時に消費者に配布するためのチラシ(京都府地球温暖化防止活動推進センター、地域協議会など、第三者機関が高性能省エネ商品を推奨していることが分かるもの)などが必要であると考えられます。

最後に、今回、センターと地球温暖化対策地域協議会(宮津市エコネットワーク)が中心となり、市民、事業者、行政など、あらゆる主体が役割を分担して事業を進められたことは、正にパートナーシップの構築であり、今後の活動を推進するにあたって意義深いものであると考えます。

市民共同の「おひさま発電所」づくり

@長岡京市

このコーナーでは、地域での温暖化防止活動の実践例を紹介します。

長岡京市に「サンさん1号」が完成

平成16年3月25日、長岡京市内のゆりかご保育園に、おひさま発電所「サンさん1号」が完成し、点灯式が開催されました。

おひさま発電所は、地域住民らの参加（寄付）を募って、保育園など公共性の高い施設に太陽光発電パネルを設置する市民共同の発電所です。まだまだ高価な太陽光発電パネルですが、多くの人が少しずつ負担する方法をとることで、誰もが気軽に普及に参加できます。多数の人を運動に巻き込むことができ、また、保育園などの様々な人が関わる施設に設置されるため、非常に大きな波及効果を持つことが特徴です。

点灯式では、園のスタッフが人形劇でおひさま発電の意義を伝え、続いて園児らのカウントダウンで、チューリップをかたどった電灯に太陽光パネルによる電気であかりをともし、おひさま発電所の完成を祝いました。



点灯の瞬間

新たな枠組みによる第1号機に

おひさま発電所設置運動は、もともと、京都市内に事務局があるNPO法人「きょうとグリーンファンド」が企画し実践してきたものです。きょうとグリーンファンドは、市民に省エネを呼びかけ、省エネで削減でき

る光熱費程度の寄付を集めて「おひさま基金」をつくり、それをもとにおひさま発電所を設置する運動を進めてきました。また、併せて温暖化問題やエネルギー問題に関する学習会を実施してきました。その結果、平成13年からこれまでに、京都市及び城陽市に計5基のおひさま発電所が設置されています。

平成15年度、京都府は、この運動を府内各地に広め、運動の担い手を育成することを目指して、「府民参加型自然エネルギー普及促進事業」を開始しました。これは、府内の団体が実施するおひさま発電所設置運動に対して、きょうとグリーンファンドのスタッフなどをアドバイザーとして派遣してノウハウを伝えるとともに、設備設置経費に対して補助を行うものです。

長岡京市では、この新たな枠組のもと、「長岡京市環境の都づくり会議」が中心となり、府や市、保育園、アドバイザー、設置事業者らと連携しつつ設置運動を進めました。「サンさん1号」は、府の新たな枠組による第1号のおひさま発電所となりました。



玄関に設置された発電量表示盤

活躍する推進員

この運動には、長岡京市環境の都づくり会議のメンバーやゆりかご保育園

の園長など、何人もの地球温暖化防止活動推進員が参画しました。この活動は、情報を発信するだけにとどまらず、自らの立場や経験、人脈を活かし、地域の多様な主体と連携して実践活動を行うという、推進員の活動のモデルとなるものと言えます。

今後の展望

長岡京市環境の都づくり会議は、今回の活動で得られたノウハウを活かして、2号機を設置することを検討しています。また、府民参加型自然エネルギー普及促進事業は、平成16年度も継続して実施されます。今後、府内の様々な地域におひさま発電所設置運動が広がることが期待されます。

拙い手からの
メッセージ

高橋由紀子さん

(ゆりかご保育園 園長
地球温暖化防止活動推進員)

皆様のご支援のおかげで、サンさん1号機を設置することができました。誠にありがとうございました。

「発電所」は、点灯式以来、順調に発電を続けており、発電量表示盤を見て、子供たちだけではなく、私たち保育士や保護者も毎日楽しんでおります。

今後も地球温暖化防止活動推進員として、より環境に良い保育園づくりに努めるとともに、長岡京市環境の都づくり会議の方々とも協力して、保護者など地域の方向けの学習会も実施していきたいと考えています。

地球温暖化防止活動推進員

地域住民に対しての情報提供や助言を行うなど、温暖化防止の地域活動のリーダーとして活躍する人々です。地球温暖化対策推進法でその役割が位置づけられています。京都府では、平成15年10月25日に、84名の方が京都府知事より推進員として委嘱されました。

特定非営利活動法人

リアル・リンク京都

このコーナーでは、府内で温暖化防止に関連する活動を行っている団体を紹介いたします。今回は、リアル・リンク京都 事務局長で、京都府地球温暖化防止活動推進センター 運営委員の芥川ひろ子さんに、リアル・リンク京都の活動について紹介していただきました。

当団体は、わが国、世界において、ともすれば失われてしまいそうになる“真のつながり(リアルリンク)”を構築しようと、平成5年10月に環境NGOとして設立し、ストップ・フロン京都の発会に寄与、平成11年6月に特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を受けた団体です。

会員は、老若男女を問わず学生から年金生活者といわれる方まで約200名、なかでも、環境ビジネスとは直接には関係のない中小企業の事業主が中心となって活動をしている団体です。

問題を解決しようとするとき、多方面から考察・検討をするのは重要なことで、そのためには戦略を考えていかなければなりません。当団体は、環境という広範囲にわたる問題について、他とは違った視点にたって何かできることはないか、さまざまな立場の方や組織・団体とのネットワークをつくることはできないかという考えのもと、講演会、見学会、シンポジウム、調査、啓発、署名活動などさまざまな事業を行ってきました。社会啓発活動が主たる事業ではありますが、公的機関と企業などの橋渡しの役割を果たしてきたとも自負しています。また、現在では福祉や教育の分野にも活動の場を広げています。

フロンの回収を義務づける「フロン回収破壊法」が施行され、業務用冷凍空調機器、カーエアコンのフロン回収が義務づけられました。法律ができたからといってフロンの問題がすべて解決したわけではありません。施行後本当に回収及び破壊の効果があがっているのか、法律がきちんと機能しているのか、今後もその経過を見守り続けていきたいと思っています。

昨年度からは新たに環境教育・環境学習への取組を始めました。

就学前の子どもたちを対象に「身近な自然や身のまわりにあるものを使った遊び」「絵本の読み聞かせ」「紙芝居・パネルシアターの公演」などをスタッフが訪問して行う出張サービスです。

子どもたちにとって大切なことは「経験をたくわえること」「心をたがやすこと」だと考えています。

「身近な自然とのふれあい」「絵本の読み聞かせ」や「紙芝居・パネルシアターの公演」などを通して、自然のすばらしさ、美しさ、不思議さ、大切さなどを、身体(からだ)で感じ、心が動き、ときめく……、そんな経験をたくさんしてほしいと思います。

今年度からは子育て支援・環境教育事業として、幼児・児童を対象とし、京都府下一円の保育所、児童館、障害児施設などの施設訪問のほか、子育てサークル、地域のサークル、お年寄りのサークルなどにも活動の場を広げていきたいと企画しています。子どもたちをもっと自然を好きになるためのお手伝いができればと思っています。

最後になりましたが、ニュースレター第1号に当団体の紹介記事を掲載していただけることに感謝するとともに、今後京都において、京都府地球温暖化防止活動推進センターが中核となられ、各機関との連携を強め、環境という大きな問題の解決にむけて、大きく前進することを期待してやみません。

私たちの趣旨に賛同し、ともに活動していただける方の参加を心よりお待ちしております。



連絡先
京都市上京区中立売通浄福寺西入加賀屋町 399 スミヤビル5F
TEL: 075-801-5629 FAX: 075-822-9001
URL: <http://www.reallink.or.jp/>

平成 16 年 5 月 27 日までに寄せられたイベント情報を紹介します。

**気候ネットワーク第 38 回連続公開セミナー
「都道府県地球温暖化防止活動推進センター、
地球温暖化防止推進員のあり方」**

日 時：6 月 8 日（火）18：30～20：45
会 場：ウイングス京都 セミナー室 B（京都市中京区）
参加費：気候ネットワーク会員無料 一般 500 円
報 告：広島県センター、ストップ温暖化センターみやぎ、
京都府センター
主催：気候ネットワーク（TEL：075-254-1011）

**京都商工会議所平成 16 年度環境月間行事
『環境との共生をめざして』見学会**

日 時：6 月 18 日（金）8：20～18：30
見学先：（＊貸切バスで案内）
「東陶（TOTO）機器（株）滋賀工場」「積水ハウス（株）滋賀工
場」「滋賀県立琵琶湖博物館」
参加費：3,000 円（昼食代・見学料含）
定 員：先着 40 名
主 催：京都商工会議所
申込み・問合せ：京都商工会議所 産業振興部
TEL：075-212-6443 E-mail：shinkou@kyo.or.jp

**持続可能なエネルギー社会と地球温暖化対策
～地球温暖化対策推進大綱の見直しに際して～**

日 時：6 月 20 日（日）13：30～17：00
会 場：池坊学園 第一会議室 洗心館 6 階（京都市下京区）
参加費：気候ネットワーク会員 500 円、一般 1,000 円
主 催：気候ネットワーク（TEL：075-254-1011）

最新のイベント情報は、Web サイトで紹介しています。ぜひご覧ください。また、イベント情報をお寄せください。

「要申込」の印がついているイベントは、事前申込が必要です。

**京都商工会議所平成 16 年度環境月間行事
『環境との共生をめざして』講演会**

日 時：6 月 24 日（木）13：30～16：30
会 場：京都商工会議所 教室（京都市中京区）
内 容：「富山市エコタウン事業」「琵琶湖・滋賀県の環境行政」「京都府産業廃棄物税の概要」についての報告
参加費：無料 定 員：先着 50 名
主催：京都商工会議所
申込み・問合せ：京都商工会議所 産業振興部
TEL:075-212-6443 E-mail：shinkou@kyo.or.jp

第 3 回 京 ECO セミナー

環境まちづくりをめざして～京のアジェンダ21の取組その成果と課題～

日 時：6 月 26 日（土）15：00～16：30
会 場：京エコロジーセンター（京都市伏見区）
対 象：中学生以上 定 員：先着 30 名
参加費：無料
主催：京のアジェンダ21フォーラム・京エコロジーセンター
申込み・問合せ：TEL:075-641-0911 FAX:075-641-0912

**京都商工会議所平成 16 年度環境月間行事
『環境との共生をめざして』講演会**

日 時：6 月 29 日（火）13：30～16：00
会 場：京都商工会議所 教室
内 容：温暖化対策推進大綱の見直し年を迎えての企業と温暖化問題の関わりについての講演
また、日経新聞「環境経営度調査」1位のキヤノンより、先進の環境経営についての講演
参加費：無料 定 員 先着 50 名
主催：京都商工会議所
申込み・問合せ：京都商工会議所 産業振興部
TEL:075-212-6443 E-mail：shinkou@kyo.or.jp

エコ豆知識

クイズを通して、暮らしの中の温暖化対策の情報をお届けします！

Q. 一家庭が 1 年間に消費する待機電力の電気代は、いくらになるでしょうか？
（一ヶ月の電気代 平均 9,000 円として）

待機電力：電気製品を使用していないときでも、コンセントがささっているだけで消費している電力のこと。主に、リモコンからの操作信号をいつ受けてもよいように常に待機しているビデオデッキやオーディオ、テレビ、エアコンなどで消費している。

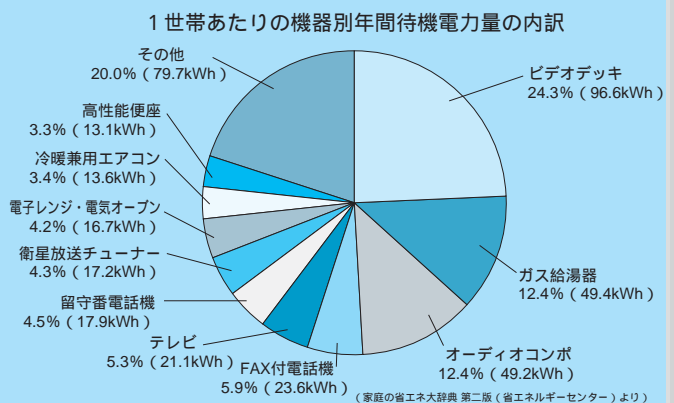
（ 1 ）約 3,000 円 （ 2 ）約 5,000 円 （ 3 ）約 10,000 円

財団法人 省エネルギーセンターによると、待機電力として消費される電力量は、家庭の消費電力量の 9.4% を占めるとのこと。平均して月に 9,000 円の電気代を支払っている家庭ならば、年間で 10,000 円以上の金額を、待機電力の電気代として支払っていることとなります。

この待機電力、コンセントを抜くなどの方法で削減することができます。また、待機電力削減のための省エネグッズも販売されていますので活用してみてください。

無駄を省くことが、温暖化防止にもなり、家計の節約にもつながります。

A. （ 3 ） 約 10,000 円



（参考：家庭の省エネ大辞典 第二版 家計調査平成 14 年年報）

地球温暖化防止活動推進員の研修会を実施しました（2～3月）

京都府内の地球温暖化防止活動推進員（84人）を対象に、基礎研修とテーマ別研修からなる、全6回の研修会を実施しました。研修は、環境市民、気候ネットワーク、薪く炭く KYOTO、ひのでやエコライフ研究所など、府内の団体の協力を得て企画・実施しました。研修には、毎回ワークショップを盛り込み、推進員同士の交流を図りました。

また、研修に併せ、テキストとして、また研修後の実践活動の手引きとして活用できる「地域の温暖化防止活動 実践ハンドブック」を作成しました。

研修の日程は以下の通りです。

基礎研修

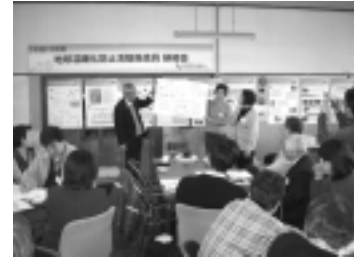
- ・南部研修 日時：2月8日（日） 場所：コープ・イン京都（京都市）
- ・北部研修 日時：2月14日（土） 場所：中丹勤労者福祉会館（福知山市）

テーマ別研修

- ・ライフスタイル（北部） 日時：2月21日（土） 場所：中丹勤労者福祉会館（福知山市）
- ・ライフスタイル（南部） 日時：2月29日（日） 場所：コープ・イン京都（京都市）
- ・自然エネルギー 日時：2月28日（土） 場所：コープ・イン京都（京都市）
- ・森林バイオマス 日時：3月6日（土） 場所：綾部市里山交流研修センター（綾部市）



上：基礎研修（南部研修）の講義の様子
下：テーマ別研修（森林・バイオマス）のグループワークの様子



小学校で温暖化教室を実施しました（1～2月）

御所南小学校（京都市中京区）において、温暖化防止を目的とするNPO法人である気候ネットワークと連携し、5年生児童（3クラス 約120人）を対象に、3回連続（計9コマ）の温暖化防止教室を実施しました。プログラムには、毎回クイズやグループワークを盛り込み、児童が楽しみながら主体的に学べる工夫をしました。また、ワークシートを使って自宅で家族と一緒に取り組み、その感想を共有する内容も盛り込んで、親への情報提供と家庭での取組の実践を促しました。



自転車発電体験の様子

環境交流会を実施しました

京都府木津保健所と協力して、京都府南部地域の市町村の環境担当者を対象とした研修・交流会を実施しました。研修・交流会では、地球温暖化の仕組みや影響を説明したほか、京都府内を始めとする各地で実施されている地域単位の温暖化対策の実践例を紹介しました。また、気候ネットワーク事務局長の田浦氏より、近隣の自治体で実施されている、市民参加型の環境基本条例・基本計画策定の事例について紹介していただきました。

2テーマの調査・研究事業を実施しました

「府民参加型自然エネルギー普及活動の活性化に向けた研究」及び「省エネラベルを活用したグリーンコンシューマー運動の普及に向けた研究」の2テーマについて、調査・研究を行いました。

府民参加型自然エネルギー普及活動の活性化に向けた研究

市民共同発電所の意義や「府民参加型自然エネルギー普及促進事業」（4面参照）の成果と課題を明らかにするため、アドバイザーなどによる研究会や、関係者へのヒアリング調査を実施しました。その結果、府民参加型自然エネルギー普及促進事業が市民共同発電所設置運動の普及に大きく貢献すること、また、よりスムーズに事業を進めるためには、コーディネーターの役割を担う主体を明確にし、各主体の役割をわかりやすく記した資料を整備することが必要であることなどが確認されました。

省エネラベルを活用したグリーンコンシューマー運動の普及に向けた研究

省エネラベルを活用したキャンペーン（2～3面参照）の効果を高め、府内各地に広げるためには何が必要かを、実践活動を通して、またアンケート調査やヒアリング調査を通して検討しました。その結果、省エネラベルが実際に省エネ製品の選択に効果があること、店員の意識の向上にもつながることなどが確認されました。また、消費者向けの情報発信を強化する必要があること、小規模の店舗は、製品に表示するラベルだけではなく、消費者のところに向いて販売する際に活用できるツールを求めていることなどがわかりました。

活動内容は、Webサイトでも紹介しています。ぜひご覧ください。

事務局からのお知らせ

Webサイトをご活用ください。

京都府地球温暖化防止活動推進センターのWebサイトでは、府内の取組の実践例紹介ページやイベントカレンダーを設け、温暖化防止活動に関する様々な情報を発信しています。

ぜひサイトをご覧ください、情報をご活用ください。

また、皆様が実施される活動の情報をお寄せください。サイト上で紹介させていただきます。

<詳しくは <http://www.kcfca.or.jp> をご覧ください>



啓発グッズを貸し出しています。

温暖化啓発パネル(A1サイズ10枚セット)や、消費電力計などの啓発グッズを貸し出しています。イベントなどでご活用ください。詳細は、事務局までお気軽にお問い合わせください。

事務所をお気軽にご利用ください。

京都府地球温暖化防止活動推進センターは、京都市中京区に事務所を設け、皆様からの温暖化防止活動に関する相談におこたえしています。もちろん、電話やE-mailを使っての問合せにも応じております。お気軽にご連絡ください。

事務所内には、関連資料・書籍を閲覧できるコーナーも設けております。また、事務所内の会議室(定員:着席18名)を、温暖化関連のミーティングや作業にご利用いただけます。

啓発パネル(10枚セット)の内容

- (1) 地球温暖化問題とは
- (2) 地球温暖化の影響
- (3) 先進国の対策が重要
- (4) 温暖化問題をめぐる国際交渉
- (5) 日本の二酸化炭素排出の現状
- (6) <対策> 自然エネルギー普及
- (7) <対策> 交通分野での取り組み
- (8) <対策> 事業活動での取り組み
- (9) <対策> 家庭での取り組み 1
- (10) <対策> 家庭での取り組み 2

今年度もよろしくお願いたします ~スタッフより~

新年度に入り、新たなスタッフも加わりました。今年度もよろしくお願いたします。



(写真:左から 木原 小倉 瀧上)

小倉正 京都で暮らすのは学生時代以来、京都で温暖化防止活動に携わるのはCOP3以来となります。皆さんの活動が進むよう、お手伝いできることがあれば出かけて参りますのでお気軽にお問い合わせ下さい。

木原浩貴 設立から早くも半年が経過し、殺風景だった事務所も、私の机を筆頭に徐々に事務所らしくなってきました!(=ちらかってきました)元気が取り柄の私です。今年度も元気ががんばりますのでよろしくお願いたします。

瀧上佑樹 春に大学を卒業して、今年度スタッフとなりました。地球温暖化を防止するべく仕事に精を出したいと思います。趣味はお寺で読書をすることです(神社も可)。

京都府地球温暖化防止活動推進センター通信「うぉーみんぐ」

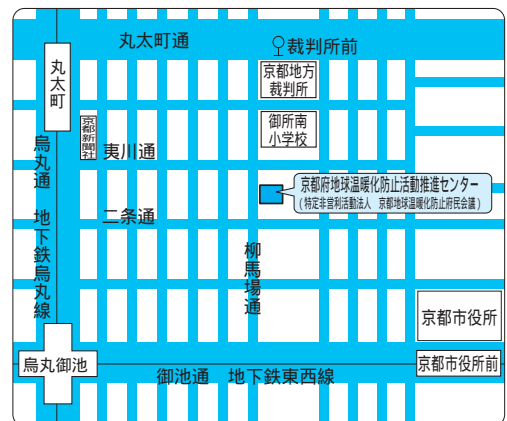
(平成16年春号・平成16年5月発行(年4回発行))

発行: 京都府地球温暖化防止活動推進センター
(特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議)
理事長: 郡嶋 孝 運営委員長: 浅岡 美恵

〒604-0965 京都市中京区柳馬場通二条上る六丁目283番4
TEL: 075-211-8895 FAX: 075-211-8896
URL: <http://www.kcfca.or.jp> E-mail: center@kcfca.or.jp

編集: 小倉 正 木原 浩貴 瀧上 佑樹

活動を支えてくださる会員を募集しています!
 年会費 正会員(個人): 1,000円 正会員(団体): 2,000円
 準会員(個人): 1,000円 準会員(団体): 2,000円
 賛助会員: 10,000円
 詳しくは事務局までお問い合わせください。



この印刷物は、古紙配合率100%の再生紙に、大豆油インキで、風力発電による自然エネルギーを使って印刷しています

